

平成27年5月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成27年5月27日(水) 午前9時00分～午前10時10分

2. 会場 : 白杵市役所 白杵庁舎3階 301会議室

3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代

教育委員長職務代理者 野上 美智子

委員 神田 岳委

教育長 斎藤 克己

欠席委員 : 委員 渡辺 義弘

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	文化・文化財課長	川野 義明
学校給食課長	斎藤 隆生	教育総務課総括課長代理	佐藤 忠久
社会教育課総括課長代理	口石 愛	学校教育課課長代理	斎藤 正雄
学校教育課指導主事	安東 憲雄	教育総務課副主幹	宇都宮 律子

5. 傍聴人 なし

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。

本日の出席委員 4名、欠席委員 1名で、出席委員が過半数に達しましたので、白杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。

(委員長)

これより白杵市教育委員会、平成27年5月定例会を開催いたします。本日の委員会の会期は本日限りと致します。会議録署名委員に、野上委員、神田委員の2名を指名致します。

7. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

5月の主な事項を行事報告に沿って報告いたします。1日に小中一体教育推進協議会の全5ブロックの担当者、校長が集まった全体会議があり、小中一体教育の考え方や方向性、これから取り組むべき事項について話し合っていました。2日は白杵っこガイド観光案内デビューの日で第8期生7人と昨年度合格の1名が参加しました。最初は緊張していましたが、だんだん慣れて積極的に観光客へ声かけしていました。7日から学校訪問が始まり、今週の金曜日が最終日となっています。12日は亀城学園入学式がありましたが、入園する人数が少し減っているようです。同日、校長会があり、歴史資料館キッズプロジェクトと、山内流への参加についてお願いしました。13日には放課後こども教室開所式があり、教室の関係者にも集まってもらって今年度の取り組みについて説明いたしました。今年から担当課が社会教育課となっています。18日に委員長にも出席していただきました人材育成市民連携会議が開催され、今年度の小中一体教育の取り組みについてメンバーの皆さんに説明いたしました。その会議から毎年大分県教育長への要望を提出していますが、今年も25日に持って行きました。要望の内容は行事報告右側に記載しております。日にちは少し遡りますが、20日から22日の日程で神奈川県厚木市にて開催された全国都市教育長協議会へ出席してまいりました。私は教育行財政の分科会へ

参加しました。内容は改正後の教育委員会制度、その現状と課題や学校の適正規模化と学校再編などでした。その他の事項につきましてはお手元に配布しております6月行事報告表をご確認ください。以上で報告を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

無ければ以上で教育長報告を終わります。

8. 議案

(委員長)

これより次第3の協議事項に移ります。

協議事項中、第31号議案「臼杵市立学校通学区域設定規則の特例に関する要綱第2条に基づく通学校の変更の許可について」は非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第7項に基づき、採決を行います。

賛成の委員は、挙手をお願いします。

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

(委員長)

第26号議案の臼杵市文化財保護条例の一部改正について説明をお願いします。

(文化・文化財課長)

文化財保護法の一部改正に伴い、臼杵市文化財保護条例についても改正する必要性が生じたため、提出するものです。資料編の1ページに新旧対照表を掲載しています。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第26号議案については、承認するということでよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

次に第27号議案の平成27年度補正予算について説明をお願いします。

(学校教育課長)

歳入歳出について6月定例市議会へ補正予算を提出するものです。詳細については平成27年度6月補正予算要求事項説明資料を配布しておりますのでご確認をお願いいたします。主なものといたしましては、常陸太田市の山田小学校と川登小学校の交流事業として旅費及び車借上料1,663千円を計上しております。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第27号議案の平成27年度補正予算については、承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

次に第28号議案の臼杵市社会教育委員の委嘱について説明をお願いします。

(社会教育課総括課長代理)

臼杵市社会教育委員の任期満了に伴い、新たに委員の委嘱を行う必要があるものです。名簿は4ページに掲載しております。全員再任とし、任期は平成27年6月1日から平成29年5月31日までの2年間です。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第28号議案の臼杵市社会教育委員の委嘱については、承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

次に第29号議案の臼杵市公民館運営審議会委員の委嘱について説明をお願いします。

(社会教育課総括課長代理)

臼杵市公民館運営審議会委員の任期満了に伴い、新たに委員の委嘱を行う必要があるものです。名簿は6ページに掲載しておりますのでご覧ください。全員再任で、任期は平成27年6月1日から平成29年5月31日までの2年間です。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(無しの声あり)

(委員長)

第29号議案の臼杵市公民館運営審議会委員の任命については承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

次に第30号議案の臼杵市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について説明をお願いします。

(学校教育課長)

平成27年度幼稚園就園奨励費補助金等に係る国庫補助限度額等の改正に伴い、補助限度額及び区分を改正するものです。新旧対照表は資料編の2ページから6ページに掲載しています。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。
(無しの声あり)

(委員長)

第30号議案の臼杵市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正については承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

(委員長)

それでは、承認することといたします。

次に第31号議案の臼杵市立学校通学区域設定規則の特例に関する要綱第2条に基づく通学校の変更の許可について説明をお願いします。ここから非公開といたします。

9. 学力向上について

(委員長)

次第4の学力向上について説明を求めます。

(学校教育課長)

配布しております臼杵市中学校授業力向上プロジェクト2015の資料に沿ってご説明いたします。小学校については授業力、学力ともに向上しつつあるのですが、中学校においてはまだまだ課題が多く残っております。生徒の学力向上のためには先生の授業力の向上が不可欠ということで、5つのことに取り組みます。まず1つ目は先進地の授業を見て学ぼうということで国語・数学・英語の授業視察へ行いました。視察後、学んだことを活かして各自「授業改善テーマ」と「低学力層への手立て」を設定し、日常の授業を改善していきます。2つ目は「算数・数学授業モデル」の策定です。先生がそれぞれバラバラの授業をするのではなく、統一したモデルを作りそれに基づいて子ども達にわかりやすい授業をしていきます。3つ目は「のり入れ授業」を行い小中一体教育と連動させます。4つ目は臼杵教科研科部会の活性化をはかります。5つ目は臼杵市基礎・基本テストの活用といった内容です。これらの取り組みを行うことによって先生方の授業力を向上させるのが狙いです。ご意見をお願いいたします。

(委員長)

今年度の高校受験で上野が丘高校一極集中だったそうです。もし臼杵高校合格者が上野を受験していたら3～4人しか合格していないのが実態だと言われました。しかし、臼杵高校も3年間で生徒を頑張らせて卒業するころにはまずまずの成績を出しているそうです。現在の3年生は2次募集で大分市から入学した生徒がいますが、1・2年生については大分市の高校を落ちたから臼杵高校に行くのではなく、最初から臼杵高校を狙って受験する生徒も増えたそうです。臼杵市の生徒も何人も不合格になっています。

全国学力テストの結果において大分県は全国でも下位の方、その中でもさらに臼杵市は下の方で、特に中学校が悪いと言われています。もちろん点数が全てではないし、臼杵の子ども達は心豊かで優しくてたくましいという点ではどこにも負けない自信があります。しかし結局はテストの点数で評価されますので、とりあえず学力テストでそこそこの点を取っていくことを目指して、小中一体と併せて教育委員会も学校訪問や指導主事訪問や研究会など言い続けていかなければなりません。点数アップの一番の近道は、子どもたちが家庭学習を頑張ると同時に家庭学習で何をすればよいのかということ

含めて、授業の工夫・改善をしていくことが重要だということを学校訪問等でも言い続けてきています。委員の皆さんからもご意見をお願いします。

(野上委員)

先生の3分の2がベテラン層ですので、授業も上手なのではないかと思っていました。マンネリ化してしまうんですね。こちらから色々仕掛けなければ気付かないのはなぜか疑問に思います。

(学校教育課長)

おっしゃるように一番大事なのは先生方の意識改革だと思っています。自分たちが変わらなければいけない、授業スタイルを変えて行かなければならないんだというところを考えると動き出すのが大事だと思います。昔からやってきた授業のやり方を変えていけないのもありますし、小学校なら全教科やりますので学校内で話合うこともできますが、中学校はそれぞれ教科担当があり、小規模校の多い臼杵市では学校に教科担当が1名しかいないことも多く、校内研修の際も共有化が図りにくいという点があります。そのため臼教研があるのですが活性化できていないのが現状で、まずは先生方の意識改革をしてもらうためにそれぞれの教科の先生を連れて先進的な授業を見学し、それを真似て子ども達が主体となるような授業をしていこうというのが今回の取り組みです。生徒の扱いとか生徒指導面などはベテランですので上手なのですが、ベテランであるがゆえに自分の方針を曲げないところもあるのかもしれない。それを変えていくのが大きな課題です。

(野上委員)

大分大学に行った際に、先生を育てる先生の授業を公開しているのを見るととても活気があるのですが、ベテランの先生達が今から先生になる人が何を学んでいるのか、そういう若い人を見に行くのも良い刺激になるのではないかと思います。

(教育長)

先ほど学校教育課長が言ったように、せっかく臼教研という組織があるのに活かされていないのではないかと私を私も教育長になって感じました。先生方は頑張って勉強しているのに、今後どうしていくのかということが足りないような気がしました。一度に先生達の意識を変えていくのは難しいと思いますが少しずつでも変えていく方法として、野上委員がおっしゃったようにそのような授業を見て気持ちを新たにすることも必要なと思います。良いアイデアがあればまたお聞かせいただきたい。

(神田委員)

臼杵市として学校教育の中で学力をアップするのがボトムアップなのか、真の学力アップなのかというところをきちんと先生達がイメージすることが必要で、それも小中連携の一つの意味合いであると思います。ただ単に臼杵市の点数だけ上げようとするならボトムアップすればすぐに上がるのではないかと思います。どこに焦点をあてるのかをイメージして授業を組み立てると点数も少し変わってくるのではないのでしょうか。しかし学力アップには先生方の責任だけでなく、保護者の責任もあると思います。先生方にすべてお任せして学力向上を目指すのは難しい気がします。親の指導をどういう形でやるかということ、親のボトムアップの方が難しいと思います。何か良いアイデアがあるといいのですが。

(委員長)

学校サイドに立ってみると躰から何から色んなことが学校に持ち込まれすぎて、全教師にとっては「わかる授業、楽しい学校づくり」が責任であり使命でなければならぬのに、それを超える事柄が持ち込まれすぎて疲弊している気がします。その学年でどうしても身に付けなければならない力を付けてあげて、躓きかけている生徒、理解が遅い生徒をできるだけその学年で解決して次の学年にあげないといけない。そのための取り組みが始まっていると学校訪問をして感じました。神田委員は保護者の立場で委員になられていますが、おっしゃるように親の責任も大きいと思います。昔は居残りさせて勉強を教えても何の問題にもならなかったのに、今では保護者からクレームが出て大変なことになるのが現実

です。真剣に取り組んでほしい子どもに限って放課後子ども教室にも来ない。授業も受けずにうろうろしている生徒や机には居るが筆箱を振り回している児童を放っておいて授業はできませんよね。そのような実態を親や地域に公表して、50分の限りある授業時間を先生が全力で取り組めるような環境を作ることが必要ではないですか。残念なことに野上委員ご指摘のようにベテランになると自分のスタイルからなかなか抜け出せないというのがありますし、ほとんどの中学校において教科で相談できる先生がいない。しかしひとつ言いたいことはもう少し子どもに考える時間を保障してくださいということです。子どもが考えて書いて確かめ合うことができるような授業をしてくださいということを指導主事や私たちが言っている。旧態依然の授業スタイルから抜け出すことを考えてほしい。救いは放課後に躓きのある子どもに対応していますとか、校長自ら6年生を見ているなどの声があることです。先生達がメンタル面でも追い詰められないような環境作りの支援と、先生達の意識の改革が今考えられることではないでしょうか。今後も学力向上については皆さんで意見を出し合って考えて行きましょう。

他にご意見等ありますか。

(無しの声あり)

(委員長)

次に次第5の教育予算等についてですが、ご意見がありましたらお願いします。

先日、上北小がパナソニック財団へ申請してICT教育の助成金をいただいたそうですね。他の学校についても市教委から指導することも必要ではないかと思えます。限りある教育予算ですので様々な手立てを講じていかなければならないと思えます。

福良小も順調に進んでいるようですし、あの騒音の中で子ども達も良く頑張っていると思えます。

他にご意見等はありませんか。無ければ以上で、平成27年5月定例教育委員会を閉会します。